



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月28日

上場会社名 株式会社システムリサーチ 上場取引所 東
 コード番号 3771 URL <https://www.sr-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平山 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報室 (氏名) 太田 吉信 (TEL) 052-413-6820
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家およびアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,489	23.2	1,068	44.3	1,069	42.9	477	△6.5
2022年3月期第2四半期	8,512	9.3	740	38.7	748	39.8	511	40.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 378百万円(△24.9%) 2022年3月期第2四半期 504百万円(36.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	57.16	—
2022年3月期第2四半期	61.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,464	8,011	64.1
2022年3月期	12,884	8,134	63.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,999百万円 2022年3月期 8,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,171	15.0	2,287	10.0	2,316	9.5	1,221	△18.1	146.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	8,360,000株	2022年3月期	8,360,000株
2023年3月期2Q	1,977株	2022年3月期	1,928株
2023年3月期2Q	8,358,037株	2022年3月期2Q	8,358,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2022年11月14日(月)に投資家およびアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	
① 生産実績	10
② 外注実績	10
③ 仕入実績	10
④ 受注実績	11
⑤ 販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階となる中、各種政策の効果等により持ち直していくことが期待されておりますが、ウクライナ情勢の長期化や円安進行による物価高騰、世界的な金融引き締めによる為替変動など、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、経済産業省より発表された「特定サービス産業動態統計」によると、2022年8月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比7.3%増と5か月連続の増加となりました。内訳では主力の「受注ソフトウェア」は同5.9%増加、「ソフトウェアプロダクツ」は同18.5%増加、「システム等管理運営受託」は同2.0%の増加となり、先行きの不透明性が高まる中でも、事業の拡大、競争力強化に向けてのDX（デジタルトランスフォーメーション）関連を中心としたIT投資意欲が、引き続き旺盛であることを示しております。

こうした経営環境の中、当第2四半期連結累計期間においては、当社の主要顧客である自動車関連や電気機器製造業、金融業などからのIT投資需要が堅調に推移し、SIサービス業務の売上高は4,045百万円（前年同期比22.0%増）となりました。また、ソフトウェア開発業務の売上高は、既存顧客からの継続受注を安定的に確保できたことや、今年1月にゼネラルソフトウェア株式会社を子会社化したことにより、6,004百万円（前年同期比24.9%増）となりました。一方、パッケージソフト販売等のソフトウェアプロダクト業務におきましては、売上高は155百万円（前年同期比0.5%増）となりました。商品販売ではパソコン・情報機器、ソフトウェア等の商品仕入れ販売の売上高は184百万円（前年同期比30.2%増）、その他のWEBサイトの運営ならびにクラウドサービス（SaaS）等での売上高は、巣ごもり需要が落ち着いた影響もあり99百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

利益面におきましては、顧客企業のIT投資は堅調に推移しており、技術者稼働率も高稼働を維持しており、営業利益率は10.1%と前年同期比1.4%改善し、高収益の案件を受注出来たことやPRM（プロジェクト・リスク・マネジメント）活動も利益改善に繋がっております。一方、確定給付企業年金制度から確定拠出年金制度へ移行したことに伴い、特別損失として退職給付制度終了損363百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高10,489百万円（前年同期比23.2%増）、営業利益1,068百万円（前年同期比44.3%増）、経常利益1,069百万円（前年同期比42.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益477百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、退職給付に係る資産が減少したことなどにより、12,464百万円（前期末比420百万円減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、短期借入金が増加したものの、未払法人税等、および賞与引当金が減少したことなどにより、4,453百万円（前期末比297百万円減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、剰余金の配当を行ったことなどにより、8,011百万円（前期末比123百万円減）となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加し、6,348百万円（前年同期末は5,818百万円）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、437百万円（前年同期は435百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益707百万円および退職給付制度終了損363百万円などの増加要因が、賞与引当金の減少額185百万円および法人税等の支払額387百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、27百万円（前年同期は32百万円の減少）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出36百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、375百万円（前年同期は392百万円の減少）となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入840百万円、長・短期借入金の返済による支出713百万円や配当金の支払額501百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、2022年10月25日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,349,386	6,383,792
売掛金及び契約資産	3,972,392	4,038,624
商品	1,886	2,678
貯蔵品	5,265	5,271
その他	87,126	87,262
貸倒引当金	△384	△393
流動資産合計	10,415,672	10,517,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	397,730	386,577
土地	540,661	540,661
その他（純額）	37,879	30,101
有形固定資産合計	976,272	957,340
無形固定資産		
のれん	311,288	278,521
ソフトウェア	112,650	120,561
その他	7,128	7,034
無形固定資産合計	431,066	406,117
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	505,364	—
その他	556,281	583,539
投資その他の資産合計	1,061,645	583,539
固定資産合計	2,468,984	1,946,997
資産合計	12,884,657	12,464,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	821,770	853,451
短期借入金	—	176,000
1年内返済予定の長期借入金	780,562	744,486
未払法人税等	445,251	280,277
賞与引当金	1,003,145	818,102
その他	1,033,820	938,850
流動負債合計	4,084,550	3,811,168
固定負債		
長期借入金	622,162	608,246
退職給付に係る負債	43,646	33,620
固定負債合計	665,808	641,866
負債合計	4,750,359	4,453,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	6,950,163	6,926,458
自己株式	△1,093	△1,191
株主資本合計	8,016,769	7,992,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,622	6,722
退職給付に係る調整累計額	100,102	—
その他の包括利益累計額合計	107,725	6,722
非支配株主持分	9,803	11,510
純資産合計	8,134,298	8,011,198
負債純資産合計	12,884,657	12,464,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	8,512,448	10,489,948
売上原価	6,780,906	8,278,697
売上総利益	1,731,541	2,211,250
販売費及び一般管理費	990,866	1,142,428
営業利益	740,674	1,068,822
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	139	330
受取保険金	2,002	—
助成金収入	9,123	4,120
その他	493	667
営業外収益合計	11,765	5,125
営業外費用		
支払利息	3,974	3,915
その他	—	185
営業外費用合計	3,974	4,100
経常利益	748,464	1,069,847
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,286
特別利益合計	—	1,286
特別損失		
固定資産除却損	0	1
退職給付制度終了損	—	363,811
特別損失合計	0	363,813
税金等調整前四半期純利益	748,464	707,320
法人税等	235,938	227,834
四半期純利益	512,526	479,486
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,289	1,706
親会社株主に帰属する四半期純利益	511,236	477,779

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	512,526	479,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,836	△899
退職給付に係る調整額	△6,369	△100,102
その他の包括利益合計	△8,205	△101,002
四半期包括利益	504,320	378,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503,031	376,776
非支配株主に係る四半期包括利益	1,289	1,706

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	748,464	707,320
減価償却費	52,669	48,314
のれん償却額	—	32,767
退職給付制度終了損	—	363,811
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△139,449	△185,043
退職給付に係る資産負債の増減額	△15,881	△12,713
売上債権の増減額 (△は増加)	53,103	△56,676
棚卸資産の増減額 (△は増加)	171	△798
仕入債務の増減額 (△は減少)	74,083	33,521
投資有価証券売却益	—	△1,286
その他	△82,147	△100,860
小計	691,014	828,357
法人税等の支払額	△251,621	△387,323
その他	△3,846	△3,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	435,546	437,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,316	△4,881
無形固定資産の取得による支出	△29,497	△36,676
投資有価証券の売却による収入	—	14,188
その他	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,813	△27,359
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	440,000	440,000
短期借入金の返済による支出	△264,000	△264,000
長期借入れによる収入	400,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△466,957	△449,992
自己株式の取得による支出	—	△98
配当金の支払額	△501,484	△501,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392,441	△375,574
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,291	34,405
現金及び現金同等物の期首残高	5,808,602	6,314,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,818,893	6,348,792

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
	生産高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	4,045	126.2
ソフトウェア開発業務	6,004	124.9
ソフトウェアプロダクト業務	155	100.5
その他	99	103.7
合計	10,305	124.7

(注) 金額は、販売価格によっております。

② 外注実績

当第2四半期連結累計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
	外注高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	1,597	131.7
ソフトウェア開発業務	2,492	122.1
ソフトウェアプロダクト業務	23	78.6
合計	4,114	125.3

③ 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
商品販売	155	141.0

(注) 金額は、仕入価格によっております。

④ 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)			
	受注高(百万円)	前年同期比 (%)	受注残高(百万 円)	前年同期比 (%)
SIサービス業務	4,550	125.1	2,498	149.8
ソフトウェア開発業務	6,532	127.5	2,466	133.4
ソフトウェアプロダクト業務	137	94.2	84	86.8
商品販売	167	119.2	23	83.4
合計	11,388	125.9	5,072	139.3

⑤ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
	販売高(百万円)	前年同期比(%)
SIサービス業務	4,045	122.0
ソフトウェア開発業務	6,004	124.9
ソフトウェアプロダクト業務	155	100.5
商品販売	184	130.2
その他	99	103.7
合計	10,489	123.2

(注) 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
㈱トヨタシステムズ	1,361	15.9	1,499	14.2